



尾久西だより

荒川区立尾久西小学校
発行日 平成28年7月1日
発行者 校長 末永 寿宣

No. 306 7月号

基礎学力の向上を目指して

～子供をほめて伸ばす「尾久西学び塾」の挑戦

校長 末永 寿宣

荒川区教育委員会は、「あらかわ寺子屋」事業として補充学習を実施し、授業時間以外の学習時間を確保するとともに、主体的に学習する習慣を身に付けさせ、学力の向上を目指しています。全小中学校で教員志望等の学生（ティーチングアシスタント）や退職教員を含む教員免許保持者（補充学習指導員）の方に教えていただき、補充学習の充実を図っています。

本校では、この事業を活用し、「尾久西学び塾」という名称で、これまでも放課後に希望する児童を対象として週4回実施してきました。主な内容は、宿題や自分の苦手な教科の補充学習です。

今年度は、今までのシステムを見直し、算数の四則計算に特化し、子供たちの学習のつまずきを発見し、「学び直し」を実施します。子供たちがほめられることで自信をもち、達成感を味わい、もっと勉強したいと思えるように工夫してまいります。

この事業の本来の目的に立ち返り、子供の「主体的な学び」を直接支援し、基礎基本の徹底を図り、より一層の学力向上に取り組んでまいります。教員の負担増にならないように、優秀な講師を確保し、指導の充実を図ります。

【対象】希望・登録制

○低学年（1・2・3年）

月曜日、金曜日 14:45～15:30

○高学年（4・5・6年）

火曜日、木曜日 15:30～16:15

【指導者】

○ティーチングアシスタント…赤マルを付け、ほめる。

○補充学習指導員…つまずきをできるまで指導し、ほめる。

昨年度は1回あたり10人から20人程度でした。個別指導が中心となりますので、希望者が多数となる場合は、調整させていただきます。

学習内容は四則計算を中心に算数の教科書を徹底理解します。どの学年も1年生の教科書から学び直し、どんどんチャレンジシートに挑戦し、つまずいたらその場で質問し乗

り越え、完全理解を目指します。

各学年分（6級から1級）が終了するたびに、子供は修了証を受け取り、次の学年の級へ進みます。友達と比較するのではなく、一人一人自分のペースで進みます。

算数が苦手な子供ばかりではなく、もう一度復習し、完璧にしておきたい子供も対象となります。

尾久西小の子供一人一人が、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を伸ばし、意欲をもって学習に取り組むために、地域や保護者の方々のご理解とご協力をいただきながら、子供をほめて伸ばしてまいります。